

平成 22 年度第 1 回附属図書館（本館）利用学生モニター会議について

1. 日時： 平成 22 年 7 月 8 日（木） 16：30～18：00
2. 場所： 附属図書館 6 階図書館会議室
3. 出席者： 利用学生モニター 7 名、図書館側出席者 5 名

今回は、リニューアルオープン後、初のモニター会議ということで、主に図書館から新しく始まったサービスの運用と課題について報告し（資料参照）、それについて意見や要望を出していただきました。いただいた意見や要望は次のとおりです。

リニューアル後の運用と課題についての報告に対する意見

【個人ブース】

- ・完全な個室なので、集中できる。集中できる分長時間は大変なので 3 時間の利用がちょうどよい。
- ・どの時間にすいているかが分かるようにしてもらえるとよい。
- ・利用の手続きが本の貸出と同じように、バーコードを読ませてセルフでできればよいのではないか。
- ・個室とはいえ、公共の場。ブース内での飲食はやめた方がよい。

（図書館より）

個人ブースは、満席の場合はカウンタに「満席」との表示を出すようにしています。比較的午前中のほうがすいています。当日分のみ予約可能です。

現在は、申込み時に連絡先など書いてもらうため、利用申込書に記入をお願いしています。

飲食につきましては、他の閲覧席と同様に、マイボトルのみ利用可となっていますので、ご協力をお願いします。

【ハーベストルーム】

- ・どんな利用の仕方をしたらよいか最初は分からなかったが、グループ学習をしている人たちがたくさんいて、部屋の使い方がわかり、またうまく利用されていると感じた。
- ・談笑のためだけに部屋にくる人たちもいる。
- ・満席になっていることもある。時間交代制にしてはどうか。
- ・勉強目的で利用している。議論が長時間に及ぶこともあり、時間交代制は困る。
- ・TA などの管理があったほうがよいのではないか。
- ・利用目的を書いてもらうのはどうか。
- ・自由な雰囲気が大切。
- ・もっと遅くまで部屋が空いてれば、今まで利用していない人たちの利用もあるのではないか。
- ・部屋の開室時間は自分にとってはちょうどよい。
- ・部屋が奥まったところにあり、勉強している人たちの横や書架の間を通過してたどり着くのがよい。

（図書館より）

ホワイトボードを利用して議論しているグループやゼミ単位で利用している様子がよく見受けられます。また窓際のソファでくつろいでいる姿もよく見られます。オープンスペースであるハーベストルームでは、利用についていろいろな制限を設けて徹底させるのではなく、学習する人の姿やハーベストルームを使った企画、イベントなどをとおしてグループ学習するための雰囲気をつくってあげればよい

と考えています。

職員も定期的に巡回していますので、目に余ることがあれば声をかけています。

部屋の開室時間の延長については、光熱費の問題などもあり、検討中となっています。

【セミナールーム】

- ・机上のPCを外して利用できると、用途が増えるのではないかと。

(図書館より)

現在のところ、PCを収納する場所がないためすべてのPCを撤去することはできませんが、春と秋のセミナー開催時以外は一部の撤去であればご相談に応じますので、予約の際にお伝えください。

今後はゼミなどでも活用されるように、広報もしていきたいと思えます。

【PCワークエリア】

- ・どうやって電源を入れるかでまず悩んだ。
- ・机が広くて利用しやすい。

(図書館より)

電源位置はシールを貼って位置を示すようにしました。利用方法は情報基盤センターのものと基本的に同じになっています。

プリントアウトが可能となりましたので、ご活用ください。

マイボトル持ち込み許可に対する意見

- ・マイボトルをOKとすると、どんどんいろいろな形態の飲み物の持ち込みが広がるのではないかと。
- ・なぜマイボトルのみOKなのか、なぜ水やお茶限定なのかをはっきりアナウンスするとよい。
- ・図書館は皆で利用する場所なので、制限があるのが当然だと思う。館内には飲食可能なラウンジもあるので、マイボトルは持ち込めるのであれば、このルールは厳しいものではないと思う。

(図書館より)

なぜマイボトルなのか、なぜ水とお茶限定なのかを分かりやすく掲示しました。職員が巡回したり、チラシを配るなどして新しいルールが浸透するように努めています。今後ご協力をお願いします。

利用者アンケート調査の報告について

- ・回答の中に他の図書館との連携を希望する意見があった。現在は県立図書館との連携をしているとのことだが、一般書の多い静岡市立図書館との連携の希望も利用者の中にあるのではないかと。

(図書館より)

市立図書館と大学図書館とでは、その役割や蔵書構成などいろいろな点で異なります。市立図書館は一般書を、大学図書館は学術書を多く所蔵していますので、現時点ではその点をふまえ、うまく使い分けていただけたらと思います。

その他、利用学生モニターからの質問・要望と図書館の回答

- ・閲覧室の新聞がクリップでとめてあるが、一度外してしまうと厚いのはめにくい。

ひとつのクリップで留める枚数を少なくするように変更しました。

- ・棚にあるのに検索できない本があるのはなぜか。

検索キーワードの入力の仕方が適切ではないのだと思います。分からないときは、気軽にカウンタに聞いてください。

- ・モニター選書で買った本は小説も多い。もっと場所を分かりやすくアピールしてはどうか。

5階の企画書コーナーに置くなど、PRも今後は考えていくようにします。

- ・レファレンスの意味が分かりにくい。

レファレンスとは利用者が資料や情報へと向かうことを支援するサービスのことで、図書や雑誌の所蔵に関することや文献の探し方、文献の入手方法などの質問や相談を受けています。お気軽にお越しください。